公開実用 昭和57- 101343



実用新案登録願 (3)

昭和 55年 12月 12日

特許學長官殿

1. 考案の名称

エンジンの冷却装置

住 所 神奈川県藤沢市村岡東4-6-5

氏名 皆光利男(ほか1名)

3. 実用新案登録出願人

住 所 東京都港区赤坂二丁目3番6号

名 称 (123) 株式会社 小 松 製 作 所

代表者 河 合 良 一

4. 代 理 人

a105

住 所 東京都港区虎ノ門一丁目5番16号 晩翠ビル

氏 名 弁理士 (7146) 米 原 正 章 (ほか1名)

電話東京(03)504-1075~7番

5. 添付書類の目録

(1) 明 細 書 1 通 (2) 図 面 1 通 (8) 委 任 状 1 通 (4) 額 喜 副 本 1 通



522

方式 萬田 10/343

55 177514





明 細

1. 考案の名称

エンジンの冷却要性

2 実用新案登録請求の範囲

オイルポンプより吐出されたエンジンオイルの一部を、シリンダヘッドーに設けた噴射ノズル2や吸排気弁3・4などへ循環させてこれらを強制冷却してなるエンジンの冷却妄慮。

3.考案の詳細な説明

この考案はシリンダヘッドに設けられた噴射 ノズルや排気弁などを冷却するためのエンジン の冷却装置に関する。

一般にエンジンは冷却損失を少なくすることにより冷却系の各種機器が小型化でき、またエンジン効率も向上するが、シリンダへッド内に設けられた噴射ノズルや排気弁などの温度が高くなり過ぎ、これらに焼付きを生じたり、異常摩耗が発生するなどの不具合が生じる。

この考案はかかる不具合を改善する目的でな されたもので、シリンダヘッド内に関射ノズル

公開実用 昭和57- 101343





や排気弁などをエンジンオイルで冷却する冷却 系を設けたエンジンの冷却装置を提供して、冷 却損失の低減に伴うエンジン効率の向上と、噴 射ノズル等の焼損防止を同時に図ろうとするも のである。

以下での考案を切示の一実施例によりかのでは、 対のでは、 ないのでは、 ないのでは、

また入口5に流入した残りのオイルは、通路





1 | より吸排気弁3 , 4 のステム3 a , 4 a を 支承するペルプガイド | 2 の周囲に流入して、 ステム3 a , 4 a とペルプガイド | 2 の摺動部 を外側より冷却した後通路 | 3 よりヘッドカバ 1 0 内へ排出されるようになつている。

4.図面の簡単な説明

図面はこの考案の一実施例を示し、第 1 図は平面図、第 2 図は第 1 図 I - I 線に沿う断面図、第 3 図は第 1 図 I - I 線に沿う断面図である。

公開実用 昭和57- 101343



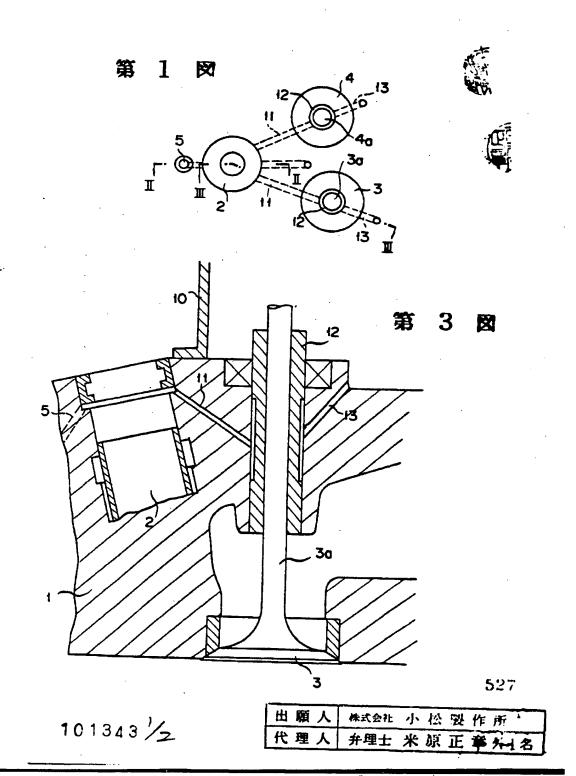


ーはシリンダヘッド、2は噴射ノズル、3は 吸気弁、4は排気弁。

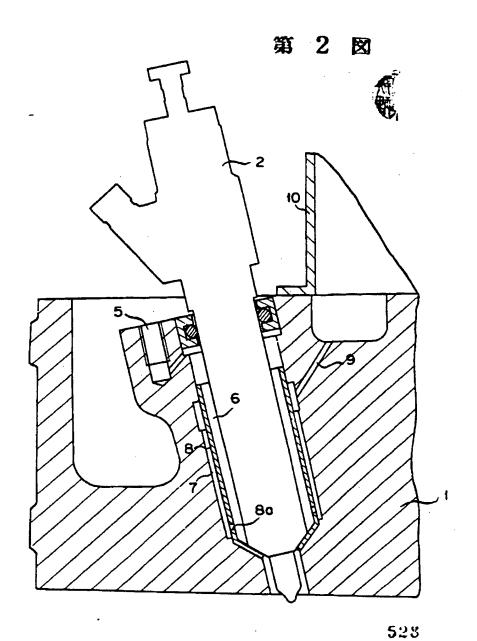
出顧人 株式会社 小松製作所

代理人 护理士 米原正章

并理士 兵本 忠



公開実用 昭和57— 101343



101343 3/2

出願人	株式会社	小	松	製	作	所
代理人	弁理士	米	凉	īE	章	外1名





考案者かよび

6. 前記以外の代理人

(1) 考案者

震。

住 所 神奈川県川崎市川崎区中瀬 3-21-7

氏 名

磁 弁

77°

(2)代理人

₹105

住 所 東京都港区虎ノ門一丁目5番16号

晩翠ピル

電話東京 (03) 504 - 1075~7番

氏名 弁理士 (7381) 浜 本



529

10/343